

子供と高齢者の交通事故防止 ～事故にあわない、おこさない～

交通事故による死者の半数以上が高齢者です。
また、高齢運転者による重大事故が発生しています。

通学中の児童が死傷する事故が発生するなど、依然として道路において子供が危険にさらされています。思いやりある運転とともに、子どもと高齢者本人が危険について知ることが大切です。



4月10日(月)は 「交通事故死ゼロを目指す日」です

思いやりと
ルールの
遵守で
交通事故を
ゼロに



歩行中・自転車乗用中の 交通事故防止

【歩行中】

交差点や道路を渡る際には、必ず
右と左を確認してから渡りましょう。

【自転車乗用中】

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道
寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
- ⑤ 子供はヘルメットを着用



後部座席を含めた全ての座席の シートベルトとチャイルドシートの 正しい着用の徹底

後部座席でシートベルトやチャイルドシートを
着用しないと、事故時に車の外に投げ出される
など、自分自身と全席の人の
大きな被害につながります。

チャイルドシート
着用推進
シンボルマーク
「カチャピョン」



飲酒運転の根絶

お酒を飲んだら絶対に運転しない

わずかなお酒でも、運転能力・判断能力を鈍らせる
おそれがあります。ちょっとだけの軽い気持ちで、
重大な事故につながります。

「乗らない」、「乗せない」、
「飲ませない」を守り
ましょう。



平成29年4月6日(木)～15日(土)

春の全国交通安全運動